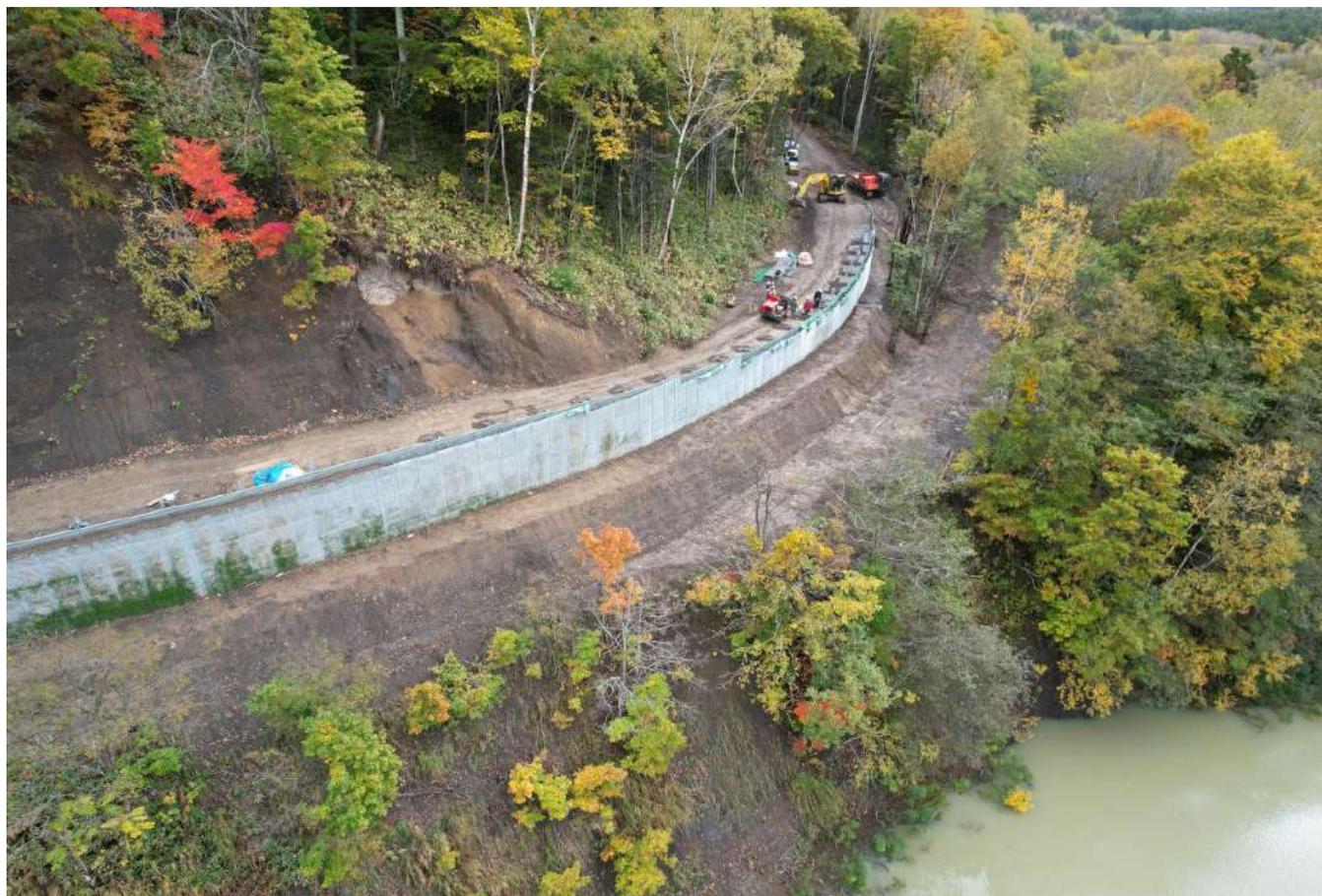
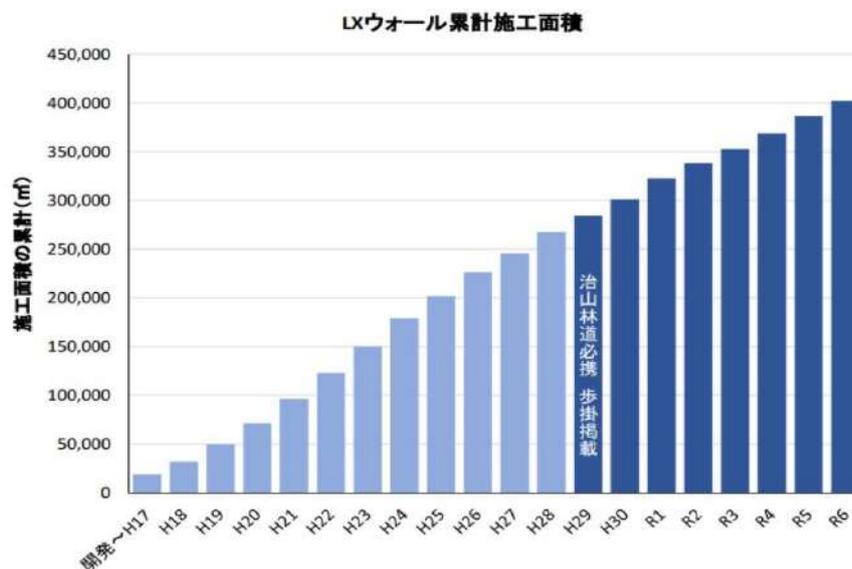


控えアンカー式L型擁壁「LXウォール」施工面積40万㎡を達成



プレキャストL型擁壁の向こうを張って開発した控えアンカー式L型擁壁「LXウォール」。理にかなったスリムでシンプルな構造が受け入れられ、開発から25年、皆様のご愛顧を賜り施工擁壁面積40万㎡を達成することができました。

今後も施工性の向上とコスト縮減をもって、現場の生産性向上につながるよう努めてまいります。



労働者不足と公共工事の品質確保

建設業を取り巻く状況

—技能労働者の不足と高齢化の進行が深刻化

—令和6年4月1日からは「働き方改革関連法」の施行により

建設業においても時間外労働の上限規制が罰則付きで適用

—頻発、激甚化する災害に対する公共工事の品質確保の促進

これらを解決していくうえで、生産性の向上や工期短縮等に資する施工性の高い工法がより一層求められてきています。特に山間地域での山岳道路擁壁工事では、現場条件が厳しく、

- ・施工性と安全性の改善による生産性の向上
- ・人手不足の解消と働き方改革への寄与
- ・工期短縮の実現

が強く求められています。

LXウォールの活用で生産性の向上

建設工事では生産性向上のためプレキャスト工法が積極的に採用されており、擁壁工事でもプレキャストL型擁壁が多く使われています。

それを鋼製のLXウォールに置き換えることでさらに設計・施工の効率化を図ることが可能です。

軽量・省力化施工が求められる山間部や狭隘箇所のように用地に制約がある場所において、クレーンといった大型重機を用いることなく、直壁の緑化擁壁を構築できます。

災害復旧工事や急遽構造物が必要になった場合でも、壁高ごとの標準設計を完備しているため迅速に対応することができます。歩掛は2017年から治山林道必携（積算・施工編）に簡易鋼製擁壁工として掲載されております。

【施工の様子】



【治山林道必携（積算・施工編）掲載歩掛】

標準歩掛 第1編 共通工

5-14（参考歩掛）簡易鋼製擁壁工

1 適用範囲
本歩掛は、鋼製部材を現地で組み立てて、背面に良質土を締めながら埋め戻して施工する鋼製擁壁のうち、高さが5m以下の構造物の組立作業に適用する。

2 施工概要
施工フローは、次図を標準とする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3 機械の選定
機種・規格は、次表を標準とする。

機種	規格	概要
バックホウ	クローラ型 クレーン機密付 積出ガス対策型 山積0.45㎡(平積0.35㎡) 2.9t吊	

4 施工歩掛

簡易鋼製擁壁工組立施工歩掛10㎡当たり

区分	単位	壁高			
		1.5m以下	1.5-2.0m	2.0-3.0m	3m超
世話役	人	0.11	0.13	0.14	0.18
山林歩掛工 (普通作業員)	人	0.87	1.03	1.16	1.46
バックホウ運転	h	1	1.2	1.4	1.8

(注) 1 本歩掛の単位は、構造物の正面積を用いるものとする。
2 本歩掛には、鋼製擁壁の組立・設置歩掛のほか、現場内運搬、吸出し防止材・養生マットの取付けの歩掛が含まれる。

第5 共通工②(土留工・擁壁工等)

5 運戻し
簡易鋼製擁壁の背面を埋め戻す運戻作業(締固めを含む。)は、別途計上するものとし、「森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式の基準1章土工④作業土工(埋戻工)最大埋戻幅1m未満」を適用する。

6 単価表
(1) 簡易鋼製擁壁工10㎡当たり単価表

名称	規格	単位	数量	概要
世話役		人	-	4
山林歩掛工 (普通作業員)		人	-	8
資材費		式	1	
バックホウ運転	クローラ型 クレーン機密付 積出ガス対策型 山積0.45㎡(平積0.35㎡) 2.9t吊	h	-	4
計				

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ	クローラ型 クレーン機密付 積出ガス対策型 山積0.45㎡(平積0.35㎡) 2.9t吊	機-1	

「なるべく地山を残したい」「カーブがあり大型重機が入らない」「単費で行うため経済性を重視する」などの理由で他工法からLXウォールへ変更された事例もございます。是非一度ご相談ください。

株式会社 共生

〒160-0022東京都新宿区新宿1-23-1 TEL:03-3354-2554

